

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

八木まちづくり協議会通信

平成 19 年 3 月 20 日発行 第 2 号

八木まちづくり協議会事務局



登録文化財ラ・バンク（八木町内の田和歌山銀行）

八木のまちについて、いろいろなお話やご意見を聞かせていただきました。

八木まちづくり協議会の今後の活動の方向性及び課題について参考になればと昨年 11 月 6 日から 11 月 15 日まで奈良女子大学の増井教授・ゼミ学生さん（延 45 名）に協力をいただいて、地域にお住まいの 70 世帯の方々から八木のまちについて様々な事柄の聞き取り調査を実施し生の声を聞かせていただきました。その調査結果が整理、分析出来ましたので、ご報告いたします。

聞き取り調査対象地域及び対象者属性

北八木町 18 世帯、 八木町 31 世帯、 南八木町 21 世帯、 合計 70 世帯
男性のみの回答 32 件、 女性のみの回答 30 件、 ご夫妻で回答 8 件、 合計 70 世帯
80 歳代 7 件、 70 歳代 15 件、 60 歳代 21 件、 50 歳代 10 件、 40 歳代 7 件、 30 歳代 10 件、 計 70 件

II. 聞き取り調査項目

1. 八木地区の良いところ、問題なところ、継続また復活させたいところ

「よいところ」としては交通、買い物、行政機関等近くて便利である。そして中心地でありながら静かで周りの自然環境が良いこと、また最近うすれがちな良き人間関係がこの町には残っているとの意見もありました。復活させたいものは圧倒的に愛宕祭の「立山」でした。

「問題なところ」としては道路が狭く、歩道が無いので危険である、まちが高齢化して、少し活力が無くなってきている、近所つきあいが少なくなって来た事があげられています。

2. 八木地区の文化、歴史的資産及び伊勢街道等の認知度

八木地区の歴史や偉人等に関する 7 つのキーワードについて尋ねてその認知度を調査しました。以下の通りでした。

伊勢街道 94%	旅籠屋 88%	松尾芭蕉の句碑 52%
下つ道と平城京の朱雀門との関係 57%	伊勢参りの接待場 45%	
谷三山先生 83%	前部重厚氏 29%	

八木地区が街道の交差点であり宿場町であったことについての伊勢街道、旅籠屋についての認知は非常に高い数字でした。伊勢参りの接待場、芭蕉が八木の旅籠で詠んだと言われている俳句、下つ道が平城京の朱雀門につながっていることについては約半数でした。

地区の偉人として、谷三山先生については晩成小学校で教えられていたそうです。奈良公園の整備に尽力された前部重厚氏についてはあまり知られていませんでした。

「JR 畷傍駅」については貴賓室、皇族の御幸等の思い出を話される人が大半で無人駅に至る歴史や駅舎、駅前広場の活用を語る人は少数でした。

3. 住宅、住環境について

住宅については夏涼しいことと庭の魅力をあげる方が多く、住環境については交通の利便性や

買い物に便利である、にもかかわらず案外静かなところが良いところ、一方問題な所は冬季が寒いこと、老朽化していて使い勝手が悪いことがほぼ共通に指摘をされています。

「近年修理をした、どこを修理したか。」の質問にたいしては、約69%の方が何らかの修理をしたと、場所は屋根の修理と木周りの近代化をあげられていました。

次に「子供達が住み続けると思えますか。」の質問に関しては『住み続けると思う。』が49%、「住み続けたいと思う。」が20%、「わからない」が31%で、案外住み続けていくだろうと判断されています。また住み続けられない理由としては子供の都合や建物の老朽化との回答でした。老朽化に関しては、狹隘道路に面して建築基準法の規定による建替えが思うに任せられない事情もあるようです。

4. 八木地区の道路について

八木地区の道路網については問題があると指摘されている。一つは、地区内の都市計画道路が歴史的景観を破壊する要因になっていること、一つは狹隘な道路についてです。このことを踏まえて質問を行いました。

「道路の目的」についての設問では交通、通行が最重要で防災・非難が続き、近所付き合いや子供の遊び場に出来ればの良いとの意見が続きました。

「買い物や通勤でよく通る道路は」の設問では国道24号・165号や下つ道と共に地区内の狹隘な道路・裏道を利用する人の割合も多かった。

「気に入っている道路はありますか。」の設問に、下つ道を上げる人が多く、次に自宅近くの路地を、上げられた。

「都市計画道路について」の設問には知っているが70%であり、また拡幅よりも必要がないとの意見、拡幅すれば余計に危険であり、町なみも壊されるとの意見もみられました。都市計画道路について、実現すると考えている人は少なかった。

5. まちづくり等への参画意識

JR畷傍駅周辺で実施している「まちおこしフェスタ in 八木」については「参画した」が7%「見学した」が29%、「知っている」が41%で何らかのかたち、知っている方が多かった。

「今後イベントがあれば参加しますか。」の設問には「企画から参加する」が7%、「参加する」が49%、「参加するかもしれない」が20%、「参加しない」が20%、「わからない」が4%であり今後続けることにより参加者がふえ、地域の賑わいの拠点になると思われる。

6. 平成19年度の八木まちづくり協議会の事業計画について

平成18年度の聞き取り調査を踏まえ、そこから抽出される課題について、住民参加による議論を踏まえ、まちづくりの方向性を策定してゆきます。

・ 住民参加によるテーマごとの検討分科会の開催（9月、12月開催予定）
・ 八木まちづくり協議会通信の発行（10月、3月 発行予定）
・ まちおこしフェスタ in 八木に参画（11月実施予定）
・ 晩成小学校での総合的学習支援（平成20年2月予定）
・ 晩成小学校PTAと連携まちづくり事業（年2-3回）

聞き取り調査にご協力頂きました方々には有難うございました。暮らしのなかからの生の声を聞かせて頂き八木のまちの現状と課題が少し把握出来たように思います。また八木を住み良い豊かなまちにしたいという「まちづくり」への思いも感じる事ができました。地域の皆様にはこれからも色々な、ご意見をお聞かせください。裏面の聞き取り調査、まちおこしフェスタ in 八木、晩成小学校での町の総合学習などのスナップ写真もごらんください。

聞き取り調査の様子（11月6日から11月15日まで実施）



奈良女子大の増井教授・ゼミの学生の方々と聞き取り調査の事前打ち合わせ



聞き取り調査スケジュール会議



聞き取り調査



聞き取り調査に向う



聞き取り調査

まちおこしフェスタ in 八木の様子（平成 18 年 11 月 19 日開催）



JR 畷駅舎内での接待場の展示



八木中マーチングバンドの演奏



地域の方のフラメンコの演技



畷高校のブラスバンドの演奏



晩成小学校での町の学習の様子